



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年11月11日

上場会社名 WDBココ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7079 URL <https://www.wdbcoco.com/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 谷口 晴彦  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 藤原 素行（TEL）03-5144-2250  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（電話会議、機関投資家、証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2023年3月期第2四半期の業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,976	13.7	525	△2.4	528	△2.0	354	0.6
2022年3月期第2四半期	1,738	45.7	538	107.6	538	105.6	352	94.3
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
2023年3月期第2四半期	148	39	147	48				
2022年3月期第2四半期	149	03	146	74				

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第2四半期	3,115	2,406	77.3
2022年3月期	3,133	2,148	68.5

（参考）自己資本 2023年3月期第2四半期 2,406百万円 2022年3月期 2,148百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	—	0.00	—	40.0	40.0
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	41.0	41.0

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	3,950	9.3	973	1.0	973	1.0	652	0.7	273.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	2,388,500株	2022年3月期	2,388,500株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2023年3月期2Q	121株	2022年3月期	121株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	2,388,379株	2022年3月期2Q	2,362,949株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(2) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が顧客とする日本国内の製薬業界は、少子高齢化により増加する社会保障費を抑制するため、薬価改定によって医薬品の価格が引き下げられるとともに後発医薬品の使用の促進により、市場規模においては世界第4位であるものの、その成長は横ばいを続けています。一方で、バイオ医薬品による開発やAIの利用により創薬手法は高コスト化・高難度化し、また、各種規制の強化への対応が求められることによって、製薬企業の収益構造は変化をしています。そのため、持続的な成長のためにビジネスモデルの変革を求められている製薬企業においては、医薬品開発を委託するCROに対して、従来のように業務処理を行うだけではなく、コスト構造や業務効率の抜本的見直しといったニーズを適切に把握し、課題解決の提案を行うパートナーとしての姿勢を期待するようになってきています。

このような状況の中、当社は「仕事の成果の保証」と「新しい価値の提供」を通じて、お客様の課題を解決し医療の未来に貢献することを経営理念とし、最新のテクノロジーと優れたビジネスモデルを用いて、顧客に最適な業務プロセスを提案・実施する製薬企業にとって不可欠なパートナーとして、「安全性情報管理サービス」を主軸に、「ドキュメントサポートサービス」、「開発サポートサービス」、「臨床開発支援サービス」を展開しております。

当第2四半期累計期間においては、前第2四半期に計上した短期大型案件の売上の剥落があったものの、安全性情報管理、開発サポート、ドキュメントサポートの各サービスにおいて前第3四半期以降に稼働を開始した複数の新規顧客からの受託案件、既存顧客からの追加受託案件が売上に寄与するとともに、既存案件の売上高が堅調に推移いたしました。また、第1四半期に稼働を開始した新規案件および2023年3月期下期に稼働を開始予定の大型案件に対応するための人員の確保と育成を計画的に行ったほか、所定労働時間の短縮や研修の拡充といった、長期的にサービスを維持・向上させていくための施策を戦略的に行いました。

この結果、売上高は1,976百万円と前年同期比238百万円(13.7%増)の増収となりました。また、営業利益は525百万円と前年同期比12百万円(2.4%減)の減益、経常利益は528百万円と前年同期比10百万円(2.0%減)の減益、四半期純利益は354百万円と前年同期比2百万円(0.6%増)の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期累計期間末における流動資産は2,756百万円と前事業年度末と比べ2百万円(0.1%減)の減少となりました。これは主に、現金及び預金145百万円の減少、売掛金及び契約資産133百万円の増加によるものです。

##### (固定資産)

当第2四半期累計期間末における固定資産は358百万円と前事業年度末と比べ16百万円(4.3%減)の減少となりました。これは主に、繰延税金資産23百万円の減少によるものです。

##### (流動負債)

当第2四半期累計期間末における流動負債は571百万円と前事業年度末と比べ283百万円(33.1%減)の減少となりました。これは主に、未払金103百万円の減少、未払法人税等121百万円の減少によるものです。

##### (固定負債)

当第2四半期累計期間末における固定負債は136百万円と前事業年度末と比べ6百万円(4.7%増)の増加となりました。これは主に、退職給付引当金8百万円の増加によるものです。

##### (純資産)

当第2四半期累計期間末における純資産は2,406百万円と前事業年度末と比べ258百万円(12.1%増)の増加となりました。これは主に、四半期純利益354百万円の増加、配当の支払による95百万円の減少によるものであります。

#### ②資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は1,743百万円と前事業年度末と比べ145百万円(7.7%減)の

減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは、17百万円の収入となりました。これは主に、税引前四半期純利益528百万円の計上による資金の増加があったものの、売上債権の増加133百万円、未払金の減少103百万円、法人税等の支払い269百万円などの資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは、60百万円の支出となりました。これは主に、前期末の本社・東京オペレーションセンターの拡張によって発生した固定資産の購入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは、101百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払い95百万円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在なリスクや不確実性を含んでいます。新型コロナウイルス感染症の収束時期について不透明であることから、その影響が通期に渡り継続したと想定し、その影響を織り込んでおります。2023年3月期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表しております、売上高3,950百万円、営業利益973百万円、経常利益973百万円、当期純利益652百万円のまま、業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,888,588	1,743,175
売掛金及び契約資産	839,248	972,437
仕掛品	4,486	24,289
その他	26,493	16,735
流動資産合計	2,758,817	2,756,637
固定資産		
有形固定資産	154,349	144,210
無形固定資産	13,525	30,685
投資その他の資産	206,974	183,658
固定資産合計	374,849	358,554
資産合計	3,133,667	3,115,192
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	77,762	76,769
未払法人税等	290,106	168,248
賞与引当金	82,625	110,837
受注損失引当金	24,120	26,521
その他	380,784	189,582
流動負債合計	855,397	571,958
固定負債		
退職給付引当金	71,966	80,930
資産除去債務	34,947	34,955
その他	23,276	20,390
固定負債合計	130,189	136,276
負債合計	985,587	708,234
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	275,940	275,940
資本剰余金	275,940	275,940
利益剰余金	1,596,666	1,855,544
自己株式	△467	△467
株主資本合計	2,148,079	2,406,957
純資産合計	2,148,079	2,406,957
負債純資産合計	3,133,667	3,115,192

(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,738,326	1,976,414
売上原価	987,456	1,208,662
売上総利益	750,869	767,752
販売費及び一般管理費	212,153	241,879
営業利益	538,715	525,873
営業外収益		
受取利息	6	8
助成金収入	—	2,188
その他	—	29
営業外収益合計	6	2,225
営業外費用		
支払利息	59	86
その他	0	—
営業外費用合計	60	86
経常利益	538,661	528,012
税引前四半期純利益	538,661	528,012
法人税、住民税及び事業税	180,002	150,296
法人税等調整額	6,517	23,303
法人税等合計	186,519	173,599
四半期純利益	352,142	354,412

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	538,661	528,012
減価償却費	6,726	15,655
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,723	28,212
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,661	8,964
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△12,275	2,401
受取利息	△6	△8
支払利息	59	86
売上債権の増減額(△は増加)	△324,827	△133,188
棚卸資産の増減額(△は増加)	10,675	△19,802
仕入債務の増減額(△は減少)	18,733	△992
未払金の増減額(△は減少)	△57,343	△103,502
その他	△5,765	△38,987
小計	198,024	286,849
利息の受取額	6	8
利息の支払額	△60	△88
法人税等の支払額	△91,892	△269,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	106,078	17,055
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△323	△43,513
無形固定資産の取得による支出	△398	△17,200
敷金及び保証金の差入による支出	△18,697	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,418	△60,700
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△3,551	△6,289
自己株式の取得による支出	△140	—
配当金の支払額	△82,644	△95,478
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,336	△101,768
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	322	△145,412
現金及び現金同等物の期首残高	1,280,271	1,888,588
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,280,593	1,743,175

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、CRO事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。